

【NEWS RELEASE】

2021年5月7日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社いなげやに「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社いなげや（代表取締役社長：本杉吉員）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社いなげやについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 店舗におけるペットボトルリサイクルの促進・プラスチック包材削減・食品廃棄物削減の推進

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。
	12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人あたりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

- ② “地域のお役立ち企業”として、新型コロナウイルス禍での営業継続や雇用創出、買い物弱者への食料品等の販売の実施

目標 8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障がい者を含む全ての男女の完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。
目標 10 人や国の不平等 をなくそう	10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化および社会的、経済的および政治的な包含を促進する。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



店頭で資源リサイクルを推進。ペットボトルは“ボトル to ボトル”で、循環型リサイクルを実現。

様々な新型コロナウイルス感染防止対策を実施。地域の食を支えるインフラとして、店舗の営業を持続。

移動スーパーとくし丸の事業を拡大。買い物弱者(高齢者など)の食を支え、地域の見守り支援も実施。

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。